

仏事コーディネーター 資格取得者を訪ねて

BUTSUJI-COORDINATOR

メモリアルアートの大野屋

メモリアルギャラリー千葉（千葉市）

「資格の活用に努めています」

福島杏奈氏

仏事関連総合サービスのメモリアルアートの大野屋は仏壇、墓地・墓石、葬儀をはじめ、手元供養に至るまで幅広いサービスを展開。

資格取得についても積極的であり、仏事コーディネーター、お墓ディレクター、葬祭ディレク

ターなど仏事関連の資格取得者が多数在籍。資格は社内全体に活力をもたらし、昨年は多くのスタッフが受験にチャレンジした。

今回、取材に御協力頂いたのは、福島杏奈氏（メモリアルギャラリー千葉スタッフ）、福島氏は千

葉県出身、以前はサービス業に従事、縁あって同社に転職した。仏壇仏具は未知の分野だったが、周囲の協力と自身の努力が重なり、仏事コーディネーター資格（平成二十七年）とお墓ディレクター二級の資格を取得。「この仕事には必要な資



福島杏奈氏
（メモリアルアートの大野屋・メモリアルギャラリー千葉）



ショールームにはソウルジュエリーや仏壇仏具を展示
（メモリアルアートの大野屋・メモリアルギャラリー千葉）

格ではないかと思いません、受験に至るまでの三年間の経験と得た知識がとても重要で、何かわからないことがあれば社内の資格者に聞いてみました。また過去の試験問題を見たときにすごく細かいなと思いました」と過去を振り返る。

「ガイダンスは細かい分野まで多岐にわたり、広範囲に把握することは難しいですが、接客中に相談を受けてわからないことがあれば、少し時間を頂いてガイダンスで調べてアドバイスするケースもあります。また、お気持の落ち着かない段階からこの仕事はスタートになりますので、どのようにならしてお客様に安心していただくかということも課題のひとつですね」と話す。

「今年弊社で、遺影の写真撮影会があり、以前はともなタイプに思われていましたが、葬儀を経験されたお客様から、亡くなった後に遺影にする写真を探さずのほいほい難しく、生前から楽しい時に撮影したほうが良いという意見もあり、最近ではボジティブに思われるようになりました」と終活にも話は及ぶ。「資格取得の目的は自分自身の知識の向上に加え、自分の名刺に仏事コーディネーターを入れるだけで、信頼感が生まれると思うんですね、お客様からこの人、プロなんだと思っただけであればいいですね、公けに知られていない資格ではないので、この資格難しいの？って言って頂ければいいですね」と話す。

最後に、今年、受験される方や受験を考えている方にエールをお願いした。「受験してみ思ったことはガイダンスの内容を覚えることはいへませんが、合格すればどこかで必ず役に立ちますし、自信につながりますので、ぜひチャレンジしてください」と励ましの言葉を送る。